

# ともに目指す 2020年

昨年8月、イギリス／ロンドンで世界陸上競技選手権大会が開催されました。世界の強豪が競う大会で日本が勝ち取った「男子400mリレー銅メダル」。アンカーとして激走を見せた藤光謙司選手が、栄光のメダルを手に田川市を訪れました。



## 藤光 謙司選手

埼玉県出身、専門は短距離走(200m)、日本大学文理学部体育学科を卒業、株式会社ゼンリンに所属。

[主な代表歴と記録]

- オリンピック  
2016年(ブラジル・リオ)  
200m予選5組6着
- 世界陸上競技選手権大会  
2017年(イギリス・ロンドン)  
400mリレー3位・銅メダル  
2015年(中国・北京)  
200m準決勝3組7着、  
2009年(ドイツ・ベルリン)  
400mリレー4位
- 自己ベスト  
2015年200m／20秒13  
2017年100m／10秒23



- 1 孫の少年時代のエピソードを語る藤光若生さん
- 2 エールを送り合った藤光選手と二場市長
- 3 市石炭・歴史博物館で「山本作兵衛コレクション」を鑑賞
- 4 トップアスリートとの握手に子どもたちは大喜びでした
- 5 藤光選手と一緒にスキップする子どもたち

日本の陸上選手として世界で活躍している藤光謙司選手ですが、そのルーツは田川市にありました。藤光選手の祖父と父は本市出身。祖父の藤光若生さんは「田川市障害者団体連絡協議会」の会長で、市の障害者福祉施策や東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致に向けた取り組みなどに協力をいただいています。こうした縁を2020年に向けた機運の醸成につなげたいと、市と田川市体育協会が藤光選手に呼びかけ、約20年ぶりとなる田川市への来訪が実現しました。

11月21日、藤光選手が市役所を訪れ、二場<sup>ふたばきみと</sup>公人市長と対談。二場市長は「ともに2020年を目指し、川筋気質を受け継ぐ同士として、市民とともに応援したい」と話し、藤光選手は「東京五輪で最高の走りを披露できるように、田川のみなさんの応援を胸に頑張ります」と答えました。同日は、市総合体育館で小学生対象の陸上教室が行われ、約40人の児童が、藤光選手からスキップやジャンプなど速く走るための基礎練習を教わったほか、選手の心構えなどの話に熱心に聞き入りました。

藤光選手は「練習方法に正解はない。まずは「自分の体」を知り、上手く動かすための自分なりの方法を見つけて継続することが大切」と話し、未来のアスリートたちにエールを送りました。